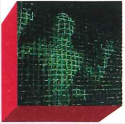


感覚ミュージアムは感覚をテーマにした体験型の美術館です。感覚は視覚、聴覚、触覚、嗅覚、味覚に分けられますが、現代の情報化社会ではあまりにも視覚のはたらきに左右されることが多いように思われます。一方で視覚が制限されたときの研ぎ澄まされた感覚や匂いを伴う過去の記憶など、日常生活の中で見え隠れする感覚というもあります。

感覚ミュージアムでは眠っていた感覚を呼び覚ます引き出しをたくさん用意しています。

07

ライト3Dスカルプチャー



棒状の光ファイバーが240cm×120cmの箱型をぎっしりと埋め尽くすオブジェ。一方から顔や体を使い光ファイバーを押し出すと、押した部分の先端が光り、光の点で立体的にフォルムが浮かび上がる体感型の作品です。

ウォールスルー

鏡を見ながら歩くと、自分の前に黒い壁があるように見え、自分が黒い壁をすり抜けているのが見えます。また外から中の、自分が通ってきた道を見て、他の人が壁をすり抜けているのが見えます。そして鏡に映った人は、見えたり消えたりします。

08



09

アースガーデン

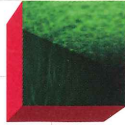


影をモチーフにした映像が床に映し出されます。架空の太陽の軌跡に合わせ、2つの架空の建物の影が刻一刻とその像を変えていきます。ここは影をテーマにした一つの庭であり、影の変化が空間のひろがりや時間の経過を感じさせてくれます。

ウォーターガーデン

床に張られた水がゆるやかに揺れることによって、その波紋が壁や天井に映り、まるで水の中にいるように感じます。青から緑へと変化する光と音の効果で、静寂な空間が演出されており、室内には蓮の花をイメージした香りが漂っています。

10



11

香りの森



1本1本紙を縫って作られた紙縫り30万本で構成された、白く柔らかな質感の空間です。樹林に見立てた柱9本のうち7本に穴が開いています。顔を入れるとそれぞれ違う岩出山の自然をもとにした香りや自然の奏でる音が広がります。

ハートドーム

ハート型をしたドームで、感覚ミュージアムのシンボルとなっております。ドームの中は、お風呂に見立てた漆塗りの湯船がしつらえてあり、ゆったりと身体を横たえ、音と光のシャワーで「精神浴」を楽しんでいただく空間となっております。

12



01

サークルン・サークル



直径3.2mの車輪についた台の上に寝た状態で、手足の回転運動によりペダルを操作し、チョークによる線が記録される、いわば「人からくがきマシン」です。繰り返しによって生まれる無数の線の記録がアートになっていく過程を楽しむことができます。

創作楽器

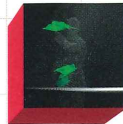
木や竹をベースにして、日常のありふれた素材で作った不思議な楽器です。手やバチでたたいたり、指ではいたりして奏でられた音を通して、体験者がお互いにコミュニケーションをとり、「音の会話」へと導いていきます。

02



03

スペースアンドサウンド



無響に近い室内で、3次元のヴァーチャル空間に自由に「音」を移動させることができます。「音」は形を変化させるヴァーチャル空間に影響を受け、体験者は不可視の空間の起伏を聴覚を頼りに体感します。

闇の森

闇の森は日常とは異なり、視覚以外の感覚を駆使して自らの感覚を再認識させる空間です。闇の中を手すりにつかまって進み、壁にある穴の中に配置されたオブジェを手で触れて鑑賞します。触感から形をイメージしてください。

04



05

エアートラバース

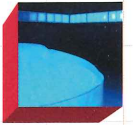


天井がガラス、壁と床は鏡張りにして空を映り込ませることで、非日常的な空間を演出しました。空中を歩いているような浮遊感や空の移り変わりを時間感覚として体験することができます。目もくらむほどの光と鏡面効果は日常の視覚感覚を失うほどです。

fuwa pica

壁にある作品は手のひらで押すことにより、押した部分は白く光り、押した力によって青い光の長さが変化します。床にある作品は強く押せば強く、弱く押せば弱く、青から緑に色が変わります。押す力によって光は無限に変化します。

06

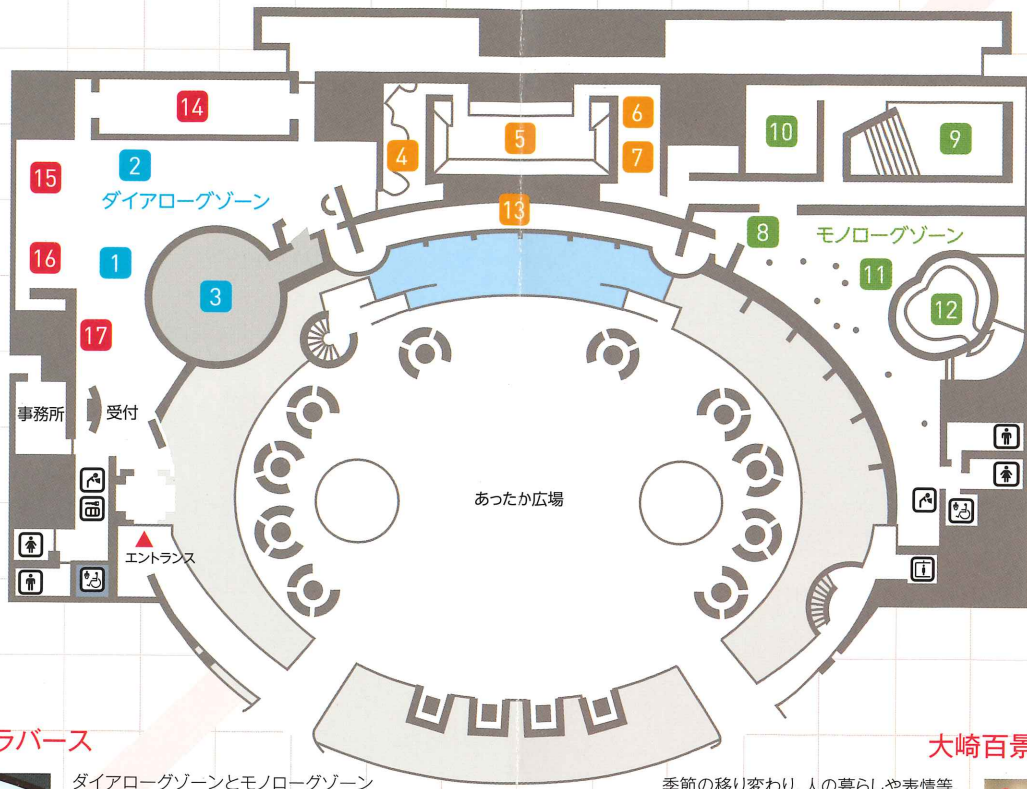


感覚に出会う、感覚を発見する。

人間が持つ五感をテーマとする日本初のミュージアム、それが『感覚ミュージアム』です。
見る、聞く、触れるといった感覚体験を通し、感じるチカラに磨きをかけ、想像力を高めることができるのが、このミュージアムの大きな魅力です。

1
▼
3
ダイアログゾーン「身体感覚空間」

8
▼
12
モノログゾーン「瞑想空間」



身体感覚をテーマに、展示を通して制作者と体験者の仮想的な対話(ダイアログ)を体験していただく空間です。

展示や演出空間が体験者の想像力を触発し、日常の感覚を徐々に忘れさせ、瞑想の世界へと誘う空間です。

カスケードトラバース



ダイアログゾーンとモノログゾーンを結ぶ、水を演出のベースに取り入れた通路空間です。広場に面した池を介して外部と接触することにより、日常感覚へとスムーズに移る感じを楽しめます。

市民ギャラリー



小さな引き出しが約1000個あります。登録すれば誰でも作品を展示することができます。来館者は自由に観賞することができます。アートによる極めてローテックで味わい深いコミュニケーション装置です。

トラバースゾーン

4 ▶ 7 13

ダイアログゾーンとモノログゾーンを繋ぐトラバースゾーン。往路は闇と光、帰路は水をテーマとして構成しています。

大崎百景／カフェるぼ



季節の移り変わり、人の暮らしや表情等、レンズを通したふるさとへの思いを感じ取り、故郷のイメージを探ってみませんか。カフェでは、お飲み物、軽食がお召し上がりいただけます。

ミュージアムショップ



ミュージアムショップでは、感覚ミュージアムのオリジナルグッズや、五感に訴えかける商品をそろえています。*ショップやカフェのみをご利用の場合、入館チケットは不要です。